

調査の概要

(1) 調査の目的

「小牧市まちづくり推進計画 第1次基本計画」（計画期間：令和元年度～令和8年度）の推進にあたり、指標、いわゆるまちづくりの進み具合を数値で測るための“ものさし”を設け、数値の移り変わりを見ながら、戦略的なまちづくりを推進していきます。この指標の進捗状況を把握することを目的としてアンケートを実施しました。

(2) 調査方法

区 分	市民調査	児童・生徒調査
調 査 対 象 者	18歳以上の市民	小学5年生・中学2年生
抽 出 方 法	無作為抽出	全 数
調査票の配布・回答方法	郵送配布・郵送及びWEB回答	データ配信・WEB回答
調 査 期 間	令和3年6月4日～6月22日	令和3年6月4日～6月25日

(3) 回収結果

区 分	市民調査	児童・生徒調査		
		計	小学5年生	中学2年生
配 布 数	3,000	2,771	1,410	1,361
回 収 数	1,765 (郵送1,246、WEB 519)	2,535	1,322	1,213
有 効 回 収 数	1,763	2,535	1,322	1,213
有 効 回 収 率	58.8%	91.5%	93.8%	89.1%

(4) 集計表の見方

- ① 回答の比率は、その設問の回答数を基数として算出しました。
- ② 回答率（％）は、小数点第2位以下を四捨五入しました。したがって、合計が100%にならない場合があります。
- ③ 有効回答とした中には、年齢、性別、居住地等の不詳があります。したがって、全体の回答数と属性別の回答数の合計が一致しない場合があります。

(5) 標本誤差

- ① 「市民生活の現状についてのアンケート」では1,763人から回答結果を得ていますが、これがどの程度の精度を持った回答結果であるのかを示す指標として「標本誤差」があります。
- ② 市民調査における標本誤差の範囲は、信頼度を95%とした場合、次表のように算出されます。基準値からの比較などには、次表を加味してご覧ください。

標本誤差の早見表（信頼度 95%）

回答数	回 答 比 率				
	10%または90%	20%または80%	30%または70%	40%または60%	50%
1,763 人	±1.4%	±1.9%	±2.2%	±2.3%	±2.4%
1,000 人	±1.9%	±2.5%	±2.9%	±3.1%	±3.2%
500 人	±2.7%	±3.6%	±4.1%	±4.4%	±4.5%
100 人	±6.0%	±8.0%	±9.2%	±9.8%	±10.0%

(注) 標本誤差の算出に用いた母数は、令和3年4月1日の18歳以上人口（住民基本台帳人口）です。

- ③ この表の見方は、例えば「設問の回答数が1,000あり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は±3.1%以内（56.9%～63.1%）である」とみることができます。
- ④ この標本誤差は無作為抽出による標本調査である「市民生活の現状についてのアンケート」に適用されるもので、全数調査である「児童・生徒の意識や行動に関するアンケート」には適用されません。